

専門看護師 研修実績及び研究業績等申告表 項目一覧

※「研修」「研究」区分については専門看護分野あるいは専門看護師に関する内容であることを示すこと。

※「提出物」に記載の資料だけでは必要記載事項が網羅されない場合は、記載のある資料(主催者が作成したもの)をあわせて提出のこと(自作のものは不可)

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 1件あたりの点数 | 添付証明資料(コピーの提出可) | | 備考 | |
|-----|--------------|----------------------------------|---|----------------------------|---|--|--|
| | | | | 提出物 | 必要記載事項 | | |
| 研修 | 社会活動等 | 一般市民やマスコミ等での普及活動 | 10 | 依頼文書等 | ①実施日時 ②本人氏名 ③活動(講義)内容 | | |
| | 講師等 | 所属施設外の現任者への指導 | 10 | 依頼文書等 | ①実施日時 ②本人氏名 ③活動(講義)内容 | | |
| | | 認定看護師教育課程における主任・専任教員 | 10 | 勤務証明書 | ①教育機関名 ②教育課程名 ③勤務期間 ④本人氏名 | 勤務期間が6か月以上の場合につき、1件として認める。 | |
| | | 専門看護師教育課程における非常勤講師等 | 5 | 依頼文書等 | ①実施日時 ②本人氏名 ③講義等内容 | <ul style="list-style-type: none"> 講師は、教科目またはシリーズ毎に(1回でも数回担当しても)1件とする。 継続して数年にわたり講師を実施している場合、各年毎に証明書類を提出すれば各年毎に5点を認める。 審査の対象とならない資料(講義資料等)を添付しないこと。 | |
| | | 認定看護師教育課程における非常勤講師等 | 5 | 依頼文書等 | ①実施日時 ②本人氏名 ③講義等内容 | | |
| | | 看護基礎教育における非常勤講師等(看護学生・院生に対する講義等) | 5 | 依頼文書等 | ①実施日時 ②本人氏名 ③講義等内容 | | |
| | | | 専門看護師教育課程・認定看護師教育課程における実習指導 | 10 | 依頼文書等 | ①実施日時 ②本人氏名 ③対象 ④概要 | <ul style="list-style-type: none"> 教育職の場合、実習指導は看護実践時間に含めるためここには含めない。保健・医療・福祉施設(行政機関を含む)等で勤務するCNSの実習指導は認める。 実習指導は依頼文書1点につき、1件とする。 |
| | | | 学会、協議会、教育機関における代議員、委員会委員、査読員等 | 5 | 依頼文書等 | ①実施日時 ②本人氏名 ③依頼内容 | 代議員、委員等は依頼を受けた1機関につき、1件とする。 |
| | | 研修プログラム等への参加① | 専門看護分野に関する最新の情報・知識・技術の修得のための研修プログラムへの参加 | 2 | 参加証、修了証、受講証、領収書のうち、1点 | ①研修名 ②日程 ③本人氏名 ④主催者の押印 | <ul style="list-style-type: none"> 本人氏名及び主催者の押印がないものは無効。 学会におけるランチョンセミナーは研修の加算対象としない。 |
| | | 研修プログラム等への参加② | 専門看護師事例検討会等の専門看護師および専門看護師教育課程修了者を対象とした研修プログラムへの参加 | 4 | 1. 研修プログラム等 2. 参加証、修了証、受講証、領収書のうち、1点 | 1. ①研修名 ②日程(開催時間) ③内容 2. ①研修名 ②日程 ③本人氏名 ④主催者の押印 | <ul style="list-style-type: none"> 本人氏名及び主催者の押印がないものは無効。 3時間未満の短時間開催の場合には、2点で申告すること。 提出物1、2に該当するものがなければ、参考様式にて提出すること。 |
| | 学会・研究会への参加 | 一般参加 | 3 | 参加証、修了証、受講証、領収書のうち、1点 | ①学会・研究会名 ②日程 ③本人氏名 ④主催者の押印 | <ul style="list-style-type: none"> 本人氏名及び主催者の押印がないものは無効。 同一の学会・研究会での二重加算(発表と一般参加など)は認めない。 院内の研究発表会は認めない。 海外での国際会議および学術集会で発行された参加証、修了証は、原本であれば押印がなくても可。領収証は、コピーでも有効とする。 | |
| 研究 | 学会発表 | 研究発表 筆頭者 | 10 | 学術集会誌の目次及び抄録 | ①学会名 ②発表日程 ③演題名 ④本人氏名 ⑤抄録 | 共同研究者、共著者の場合は自分の名前にアンダーラインを付記すること。 | |
| | | 研究発表 共同研究者 | 5 | | | | |
| | 学会講演等 | 特別・基調講演の講師、シンポジスト等 | 10 | 依頼文書及び講演の抄録 | ①学会名 ②発表日程 ③演題名 ④本人氏名 ⑤抄録 | | |
| | | 学会長 | 15 | 学術集会プログラム、学会誌の表紙・目次等のうち、1点 | ①学会名 ②日程 ③学会長氏名(本人) | | |
| | | 座長 | 5 | 学術集会プログラム、学会誌の目次等のうち、1点 | ①学会名 ②日程 ③本人氏名 | | |
| | 研究会発表 | 研究発表 筆頭者 | 6 | 学術集会誌の目次及び抄録 | ①研究会名 ②発表日程 ③演題名 ④本人氏名 ⑤抄録 | 共同研究者、共著者の場合は自分の名前にアンダーラインを付記すること。 | |
| | | 研究発表 共同研究者 | 4 | | | | |
| | 論文発表・専門誌等の執筆 | 論文 筆頭執筆者 | 10 | 別刷、コピーのうち、1点 | ①掲載雑誌名 ②出版年月 ③題名 ④本人氏名 ⑤内容 | <ul style="list-style-type: none"> 共著者の場合は自分の名前にアンダーラインを付記すること。 加算対象となるのは、「原著論文、研究報告、実践報告・症例報告、総説、解説、特集」である。 インタビュー記事は対象外。 | |
| | | 論文 共著者 | 5 | | | | |
| | | 教科書等書籍の編者、執筆 | 5 | | | | 以下の1及び2を提出すること。 1. 執筆箇所のコピー 2. 書籍の表紙及び目次 |

注1: 5年間の合計が100点以上であること。200点以上は申告しないこと。

注2: 研修50点、研究50点以上であることが望ましい。

注3: 「社会活動等」「講師等」の添付提出資料は、申請者本人が実施したことが確認できる場合、所属長又は活動先の責任者の署名、捺印がないものも有効とする。

注4: WEB開催の研修、学会等の参加の場合も申請可能。必要記載事項が確認できるWEB画面を印刷し、証明資料としてもよい。

注5: WEB開催の学会等の発表、講演等の場合も申請可能。必要記載事項が確認できるWEB画面を印刷し、証明資料としてもよい。